

日本で初めての
国立自然史博物館が
拓く未来

令和 5 年度

国立沖縄自然史博物館誘致 東京 シンポジウム

2024. **3/22** 金 16:00
18:00

笹川平和財団ビル11F 国際会議場

[講演] 長谷川 真理子 / 村上 哲明 / 岸本 健雄

[座談会] 角南 篤 (モデレーター) / 照屋 義実 / 東 良和
西田 睦 / 長谷川 真理子

■主催：沖縄県 | 一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会 |
公益財団法人笹川平和財団 ■協賛：沖縄県経済団体会議

日本初の
国立自然史博物館を
沖縄に!



参加には事前登録が必要です。(無料) ※3月19日(火) 締切

<https://www.spf.org/opri/event/20240322.html>
(笹川平和財団のサイト)へアクセスしていただき、
[会場参加][オンライン参加]のいずれかお申込み下さい。



■お問い合わせ：国立自然史博物館誘致推進事業 OSO 共同企業体 (担当：特定非営利活動法人仕事人倶楽部 大野・漆畑) TEL.03-6809-1370

日本で初めての
国立自然史博物館が
拓く未来



令和5年度

国立沖縄自然史博物館誘致 東京シンポジウム

2024. **3/22** 16:00
18:00

笹川平和財団ビル11F 国際会議場

東京都港区虎ノ門 1-15-16

国立自然史博物館は、自然史科学に関する研究体制の基盤となる施設であり、自然史標本の収集・整理・保管やそれに基づく研究、自然史科学に関する教育・展示という3つの役割を持っています。その研究成果は、自然環境の保全・再生や災害メカニズムの解明、新たな資源の発見、工学的応用による技術開発につながることを期待されています。

持続可能な未来を切り拓き、豊かで美しい地球を次世代に残すため、国立自然史博物館の早急な設立が望まれます。

そのような中、日本初の国立自然史博物館を沖縄に設立するため、(一社)国立沖縄自然史博物館設立準備委員会は2020年に機関誌「ナチュラル ヒストリー ミュージアム」を創刊し、沖縄県は2022年の沖縄復帰50周年記念事業として国立自然史博物館誘致の取組を拡充強化させ、沖縄県議会では2023年に設置促進議員連盟が発足するなど、設立活動は飛躍的に進展しています。

そこで今回は、国立自然史博物館の創設を国家的なプロジェクトとし、同博物館の沖縄での設置を現実のものとするための課題を議論します。日本初の国立自然史博物館を沖縄につくりましょう!

プログラム

開会挨拶：角南 篤 主催者挨拶：沖縄県知事

〔第1部〕基調講演 (各15分)

今、なぜ国立自然史博物館が必要なのか?

「現実世界の大切さを保存する最後のチャンス」
長谷川 真理子

「継承されてきた牧野富太郎の標本の価値と国立
沖縄自然史博物館が担うべき国際的役割」
村上 哲明

「国立沖縄自然史博物館設立活動の現況」
岸本 健雄

ビデオ「日本初の国立自然史博物館を沖縄に!」放映

〔第2部〕座談会 (55分)

国立沖縄自然史博物館の創設を国家的な プロジェクトとするために

パネリスト：角南 篤(モデレーター)／照屋 義実／
東 良和／西田 睦／長谷川 真理子

閉会挨拶：岸本 健雄

登壇者



●講師・パネリスト

長谷川 真理子

はせがわ まりこ

(独)日本芸術文化振興会 理事長



●講師

村上 哲明

むらかみ のりあき

東京都立大学牧野標本館
館長・教授



●講師

岸本 健雄

きしもと たけお

(一社)国立沖縄自然史博物
館設立準備委員会 代表理事



●パネリスト(モデレーター)

角南 篤

すなみ あつし

(公財)笹川平和財団 理事長／
内閣府沖縄振興審議会 会長



●パネリスト

照屋 義実

てるや よしみ

沖縄県副知事



●パネリスト

東 良和

ひがし よしかず

沖縄経済同友会 副代表幹事／
(株)沖縄ツーリスト 会長



●パネリスト

西田 睦

にしだ むつみ

琉球大学 学長

主催者の情報はここからご覧ください

沖縄県
(自然史博誘致 特設サイト)



一般社団法人
国立沖縄自然史博物館
設立準備委員会



公益財団法人
笹川平和財団

